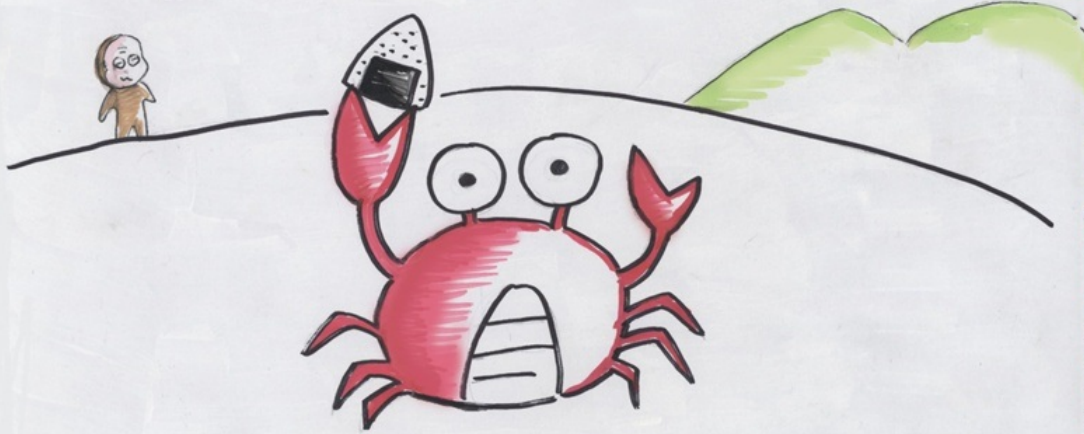


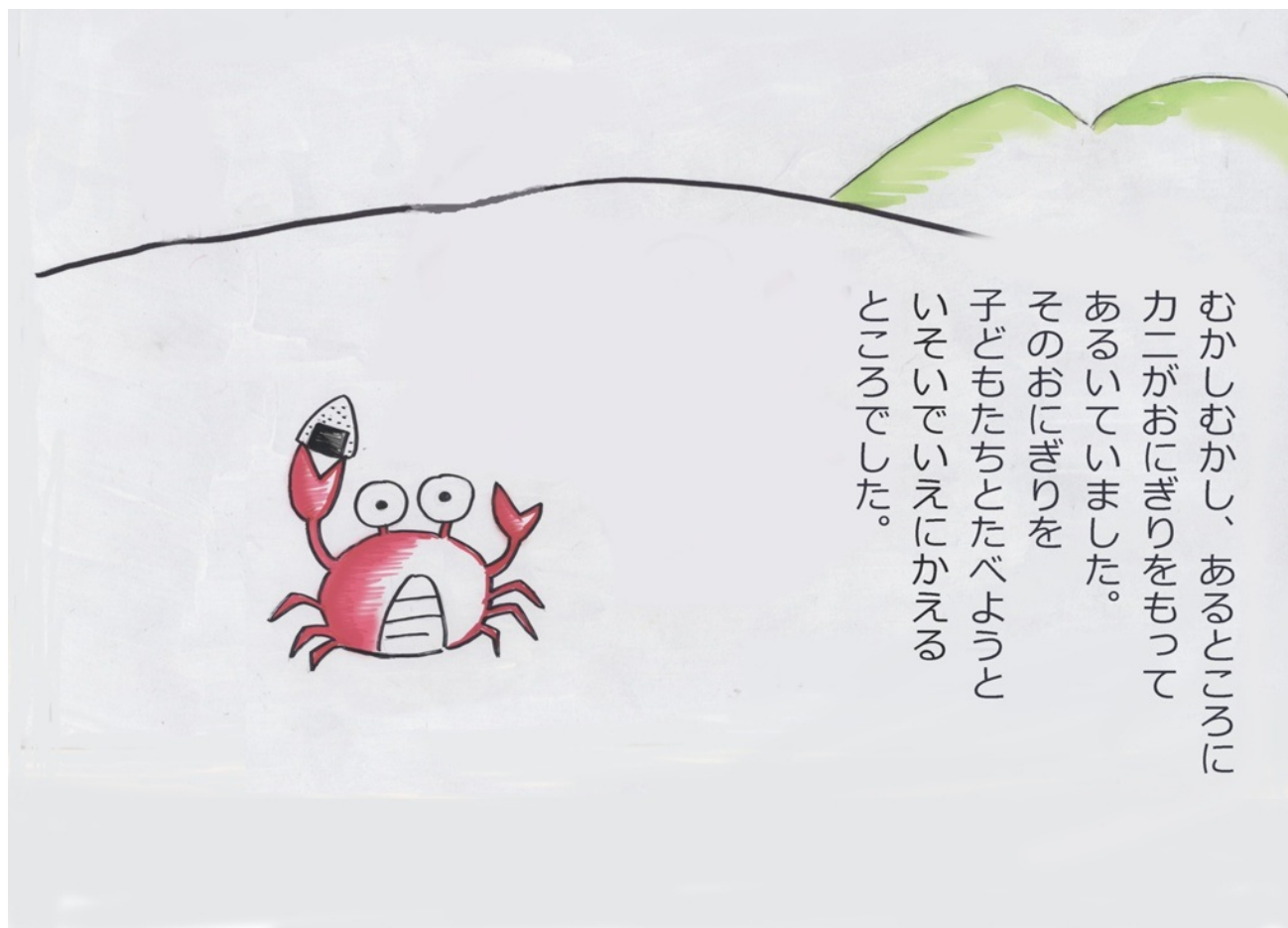
さるかにうんこ合戦



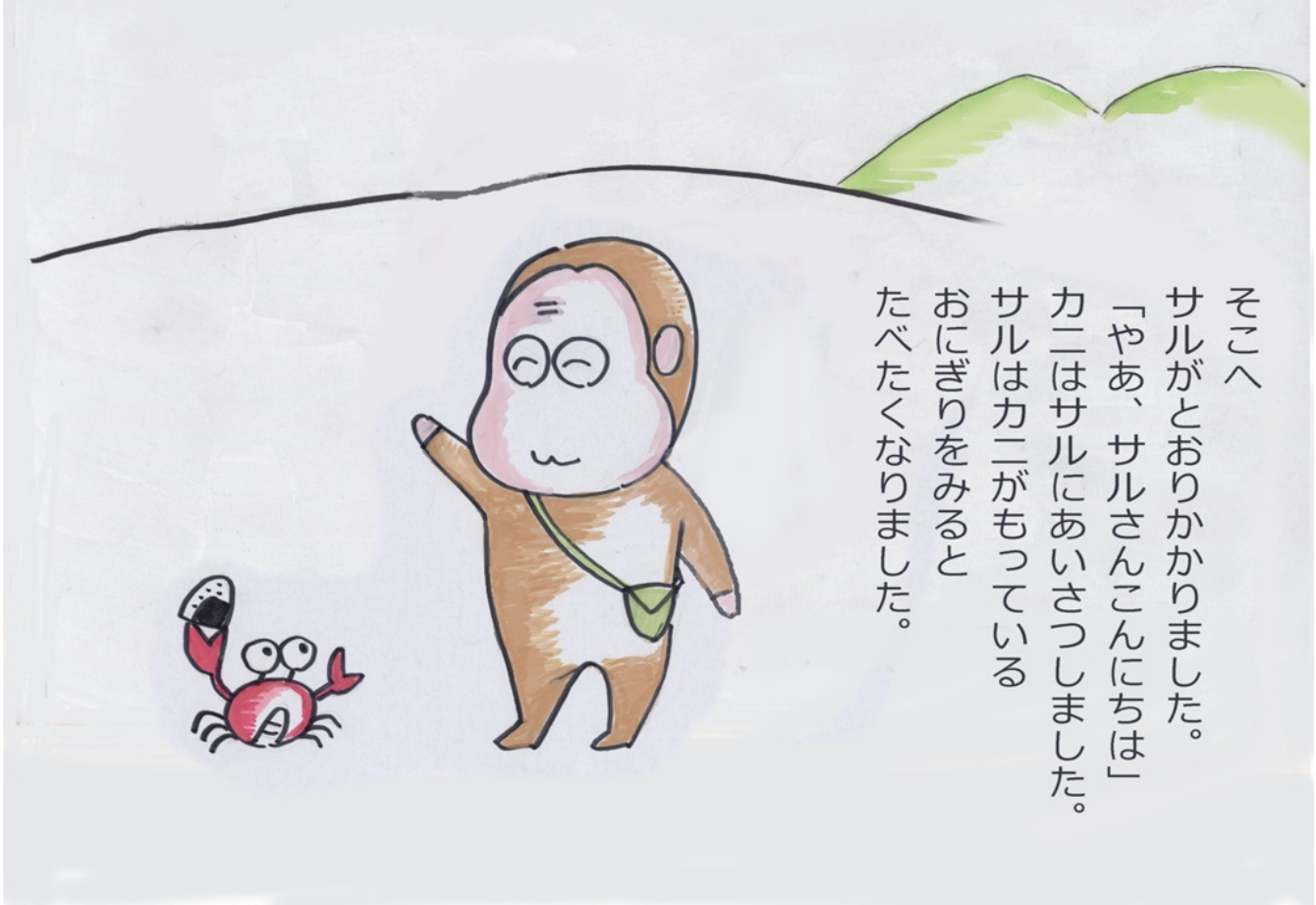
作/画 吉田 亜未

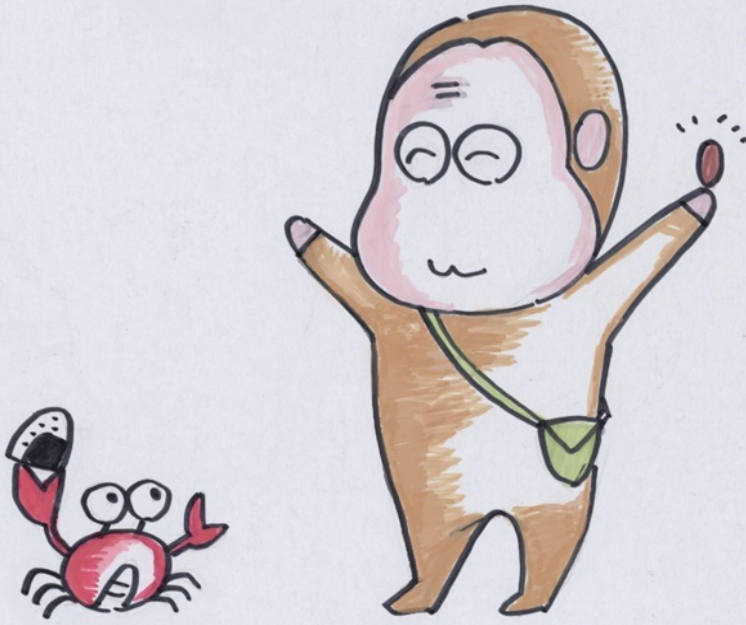
さるかにうんこ合戦

作/画 吉田 亜未

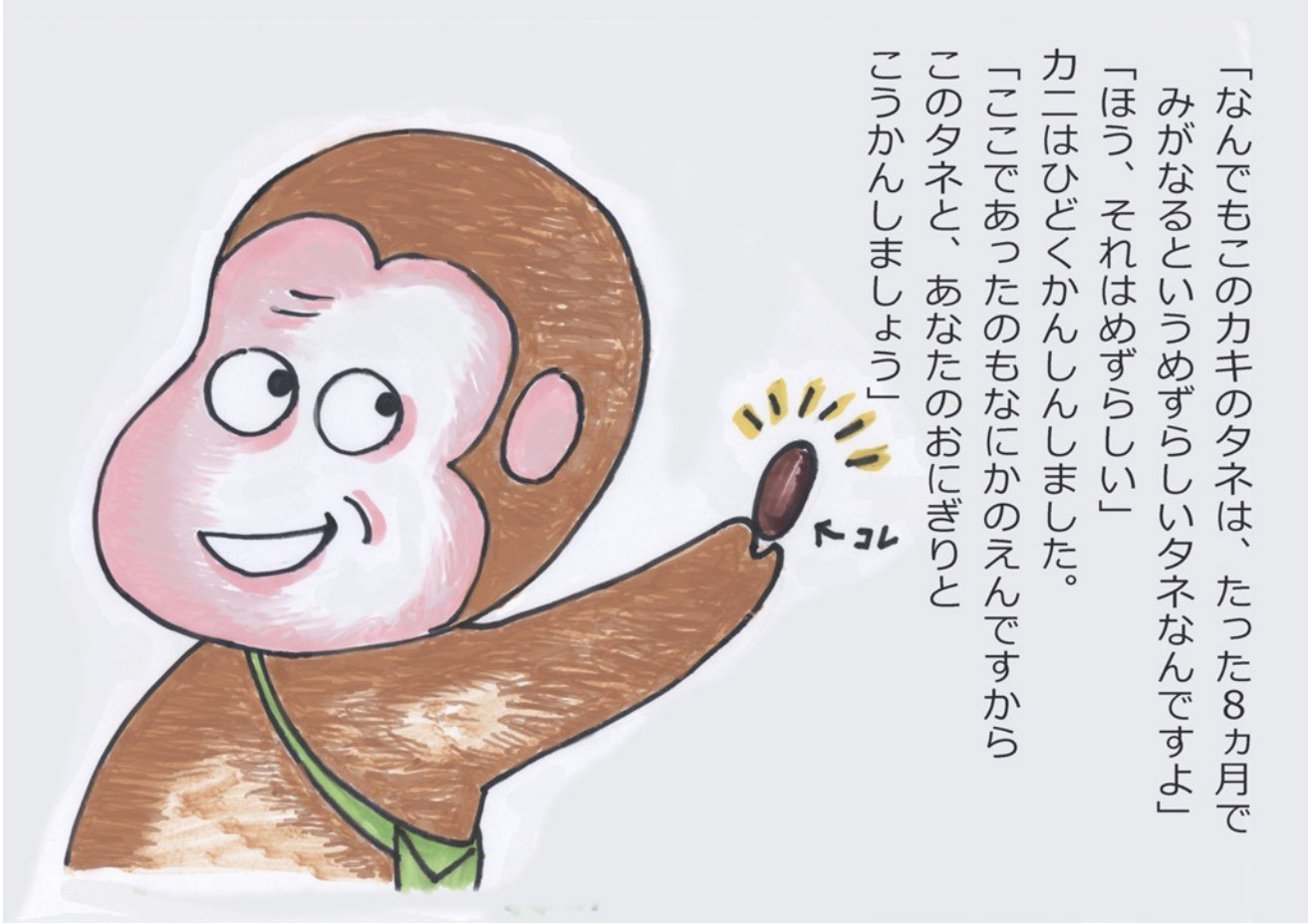


むかしむかし、あるところに
カニがおにぎりをもって
あるいていました。
そのおにぎりを
子どもたちとたべようと
いそいでいえにかえる
ところでした。

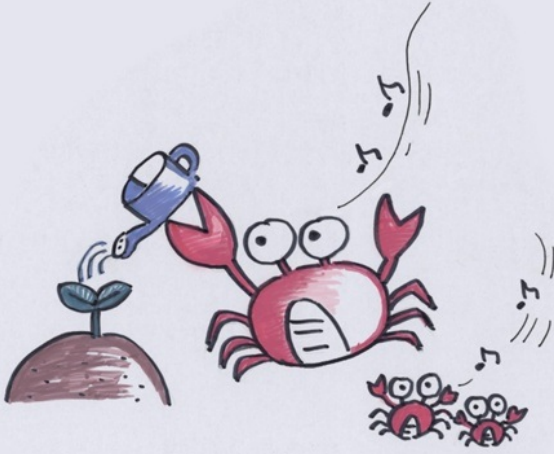




サルはおちていたカキのタネを
じまんげにみせながら
「やあ、カニさん、いいところで
であいましたね
じつはわたし、とてもめずらしい
カキのタネをもってるんですよ」



というわけで、カニは
おにぎりとかキのタネとをこうかんしました。
「はやくめをだせカキのタネ
ださぬとハサミでちょんぎるぞ」
カニは、まいにちのようにカキのタネの
せわをしながら
うたをうたいました。



そんなうたがきいたのか、カキのタネは
とんでもないはやさでせいちようして
ほんとに8カ月でみをつけました。



しかし、カニはせがひくいので
たかいところにみをつけている
カキがとれません。

そこにまたもや、サルがとおりかかりました。



「これはこれは
どうやらおこまりのようですな
わたしがかわりにカキのみを
とってさしあげましょう」
「うがはやいか、サルはするすると
カキのきにのぼりました。」

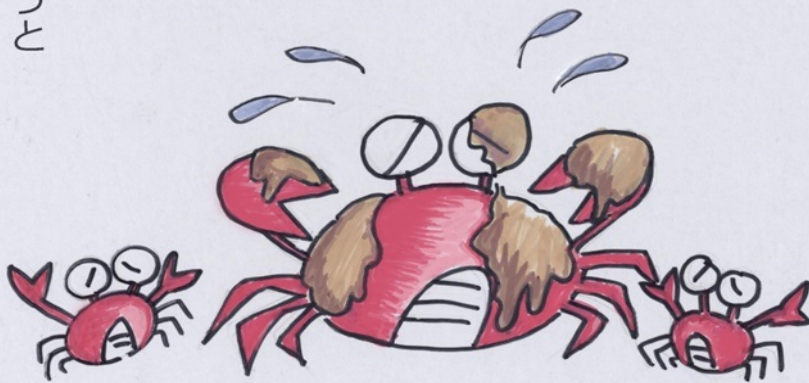




じぶんがしたうんこを
カニめがけてなげつけました。

するとサルは
「おまえにくわせる
カキはねえ！
これでもくらえー！」

「あー!!」
うんこをなげつけられたカニは
うんこまみれになりました。



サルはカキのみを
ぜんぶたべてしまうと
さっさとどこかへいきました。
カニはくやしくてかなしくて
しくしくとなくばかりでした。

すると

サルのうんこがおずおずとまえにでて

「カニさん、ぼくはサルのうんこですが
もとをただせば
カキのみです。」



お世話になったカニさんのために
サルをこらしめたいとおもいます」

「サルはにくいが

サルのうんこはなんていいうんこなんだ。

どうかサルをこらしめてください」

カニはサルのうんこにたのみました。

というわけで
サルのうんこは
ネコのうんこ
イヌのうんこ
ウシのうんこの
なかまとともに
サルをこらしめる
ことになりました。



みんなは
山のはずれのサルのいえにつくと
いえの中にかくれて
まちぶせすることになりました。

サルのうんこは
いろいろのよこにかくれ

ネコのうんこは

水おけの中にかくれ

イヌのうんこは
どまにかくれ

ウシのうんこは
やねにかくれました。

サルの家みとり図



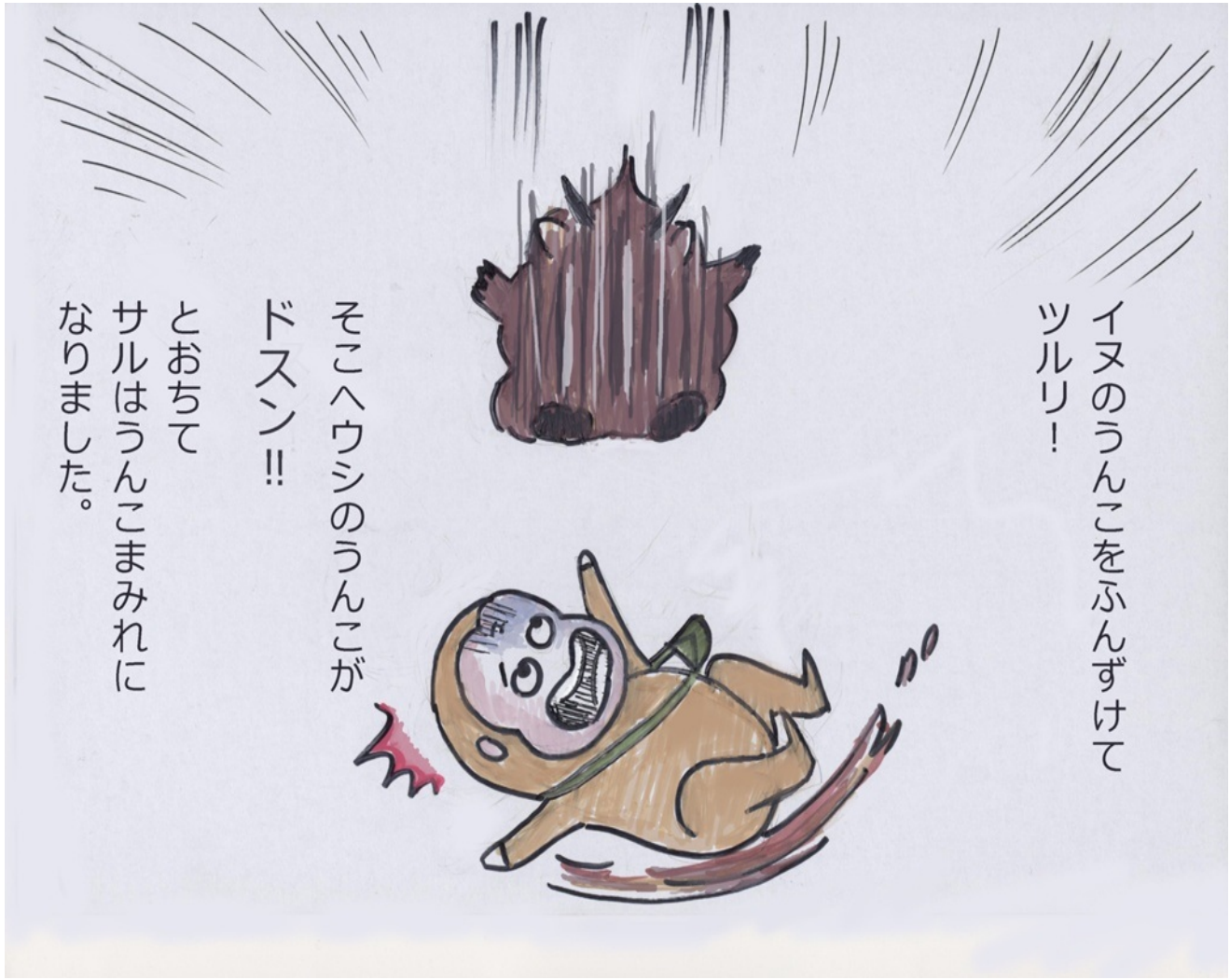




うんこの
あじがしました。

ゴロマン、

こりやたまらんと
大あわてでそとに
しようとしたら



「カニさん、ごめんなさい」
サルはカニにあやまりました。

シムンナハリス……

それから
サルはいいサルになって
カニともなかよくなりました。
めでたしめでたし

